

「おには～そと！ふくは～うち！」

認定こども園青空 豆まき



▲恐る恐る鬼退治をする園児。

2月2日、認定こども園青空で豆まきが行われました。

赤鬼、青鬼が登場すると、園児は泣きながら逃げ回り、大パニック。なんとかみんなで力を合わせて、豆の代わりに新聞紙をまるめたものを鬼に投げつけ、「おには～そと！ふくは～うち！」と声を出して鬼を追い払っていました。

いきいきと生活していくには 生きがいづくり講演会

1月16日、高齢者クラブ連合会と社会福祉協議会いきいきサロン共催の生きがいづくり講演会が地域交流センター「とわにー」で開催されました。

講演会には会員76名が参加し、3名の落語家によるそれぞれ個性溢れる演芸に、会場は笑いに包まれていました。

高橋澄久会長は「豊高連の課題の一つは“仲間づくり”。孤立している方に声をかけ仲間を増やす絆づくりが大切」と話していました。



▲内藤大助さんの試合の様子を自演する荒到夢形さん

大人も子どもも真剣勝負

第19回町民たまいれ大会



▲一般の部で優勝した「豊中U15」

2月4日、町民たまいれ大会がファミリースポーツセンターで行われました。

各部門合わせ全24チーム約160名の町民が参加し、職場の仲間や学校の友達などと一丸となり、白熱した戦いを繰り広げました。皆さん心地よい汗を流し、冬期間の体力づくりにもつながり、盛会のうちに終了しました。

地元の味がぎっしり

道の駅とようらでコロッケの販売

道の駅とようらで、地元産の牛肉を使ったコロッケの販売が始まりました。一つ一つ手作りで具材にカドワキ牧場の牛肉を使用し、外はカリッと中はふんわりの食感となっています。販売期間は、3月末までの限定で1個180円です。

竹島法子店長は「道の駅とようらでは、地元産の商品をたくさん販売していますので、ぜひ、町民の皆さんに足を運んでいただきたいです」と話していました。



▲外はカリッと、中はふんわりと仕上がっています。